



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 福

上場会社名 第一交通産業株式会社
コード番号 9035 URL <http://www.daiichi-koutsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中亮一郎

問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 垂水繁幸

TEL 093-511-8840

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	41,929	8.3	2,499	2.9	2,437	8.5	1,257	33.8
25年3月期第2四半期	38,725	2.7	2,429	28.2	2,245	36.9	940	102.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,502百万円 (62.5%) 25年3月期第2四半期 924百万円 (89.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	64.34	—
25年3月期第2四半期	48.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
26年3月期第2四半期	139,830	—	28,086	—	19.0	1,359.32
25年3月期	137,551	—	26,769	—	18.4	1,297.78

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 26,576百万円 25年3月期 25,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	88,000	0.2	6,580	7.6	6,280	6.2	3,240	13.1	165.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	19,613,600 株	25年3月期	19,613,600 株
26年3月期2Q	62,472 株	25年3月期	62,472 株
26年3月期2Q	19,551,128 株	25年3月期2Q	19,551,128 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4 . 補足情報	13
営業の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待感から円安や株価の上昇等、景気回復の兆しが見られましたが、実体経済に波及するにはまだ時間がかかるものと思われま

す。このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は41,929百万円（前年同四半期比8.3%増）、営業利益は2,499百万円（同2.9%増）、経常利益は2,437百万円（同8.5%増）、四半期純利益は1,257百万円（同33.8%増）となりました。

なお、当社グループの不動産分譲事業では、顧客のニーズに合わせて第4四半期連結会計期間に竣工する物件の割合が高いため、業績に季節の変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

タクシー事業

タクシー業界においては、「タクシー適正化・活性化特別措置法」に基づく需給調整による減車・休車の影響で、1台当たり各種実績は上向いておりますが、政権交代後の円安や株価の回復による景気上昇局面においても、いまだ大きな好転はなく、厳しい状況で推移しております。

当社グループにおいては、飲酒運転撲滅とタクシー代行運転の推進、女性乗務員による丁寧な接客面や出張・旅行者向けに「全国タクシー予約センター」のPRのほか、「安全は最良のサービス」「安全運転は全てに優先する」をモットーに安全運転研修の実施、乗務員の若返り及び定着を図るための乗務員採用に注力してまいりました。また、タクシー自動配車アプリ「モタク」の対象を枚方市周辺、仙台市、東京都の一部に拡大し、全国で3,210台が対応しております。更に、交通系ICカードなど電子マネー決済端末のPR、3カ国語同時通訳サービス（英語・中国語・韓国語）の24時間対応等により、利用者の利便性向上と他社との差別化を図りました。7月以降には、北九州市・福岡市・札幌市等で「ママサポートタクシー」サービスを運用開始し、助産師から講習を受けた乗務員が対応することで、妊産婦にやさしい環境づくりに貢献しております。

以上の結果、売上高は26,026百万円（前年同四半期比2.7%増）となり、燃料価格が高止まりしている中で営業所の統廃合による合理化と様々な経費削減に取り組んだことと、過去の大型買収1件ののれん償却が前連結会計年度に終了した結果、セグメント利益は743百万円（同1.4%増）となりました。

タクシー認可台数は、当第2四半期連結累計期間において、兵庫県相生市の相生神姫タクシー株式会社（18台）、長崎県佐世保市の三光タクシー株式会社（17台）、北海道函館市の株式会社寿ハイヤー（42台）の買収並びに5社（73台）からの事業譲受等による増加を含めて、前連結会計年度比133台増加の7,464台となりました。

なお、平成25年7月以降に買収した沖縄県うるま市の合名会社あづまタクシー（13台）、京都市の八光タクシー株式会社（146台）、和歌山市の湊タクシー株式会社（19台）につきましては、買収後まもなく、かつ四半期連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しております。

バス事業

バス事業においては、沖縄県内の路線バス部門では、現金利用者が生活防衛意識から回数券・定期券へシフトし、自家用車通勤者も燃料価格の高騰に伴い、バス通勤に切り替える傾向にあります。那覇バスでは、「モデル性の高い基幹的公共交通」実証実験への協力、那覇市内観光周遊バス「那覇ま〜い ゆいゆい号」の運行のほか、ノンステップバスの増便など、利便性の向上を図っております。一方で、貸切バス部門においては、沖縄県への入域観光客は、国内からの個人旅行客の増加に加え、国際航空便の増加に伴う外国人団体観光客も増加しております。また、個人客の増加に対応するため、那覇空港と県内主要リゾートホテルを結ぶ「エアポートライナー」の運行を開始しております。また、バスガイド・乗務員で構成する音楽ユニットによる営業活動も、集客に功を奏しております。

以上の結果、バス事業全体の売上高は3,476百万円（前年同四半期比6.6%増）となりましたが、燃料価格が高止まりしている中で経費削減に取り組んだものの、セグメント損失は8百万円（前年同四半期は、セグメント利益12百万円）となりました。バス認可台数は、前連結会計年度末にノンステップバス30台を導入したことに伴い、前連結会計年度比27台減少の704台となっております。

不動産分譲事業

不動産分譲業界においては、地価下落が下げ止まり傾向にあり、税制優遇拡充などの各種政策、消費税率の引き上げや金利上昇を意識した購入マインドが市場を下支えしております。

このような状況の下、当社グループのマンションにおいては、生活利便性の高いエリアでの供給に注力し、「グランドパレス安部山公園ステーションサイド」(北九州市 106戸)、「グランドパレス瀬板の森公園」(北九州市 74戸)、「アーバンパレス愛宕フレス」(福岡市 22戸)、「アーバンパレス老司テラス」(福岡市 24戸)、「アーバンパレス井尻クレア」(福岡市 48戸)、「アーバンパレス新飯塚駅マークプレイス」(飯塚市 91戸)、「グランドパレス泉崎ハーバービュー」(那覇市 32戸)、「グランドパレス牧志センターコート」(那覇市 39戸)、「アーバンパレス葛西」(東京都江戸川区 43戸)、「アーバンパレス東松山」(埼玉県東松山市 62戸)の新規販売のほか、完成在庫の販売に取り組みましたが、共同事業を含む新規の竣工引渡し物件及び完成在庫の販売による売上高は、2,566百万円(前年同四半期比4.3%減)となりました。なお、当連結会計年度の第3四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間の販売予定の新規竣工引渡し物件は、470戸13,090百万円となっております。

戸建住宅におきましては、「暮らしを潤す低価格な土地付住宅」をテーマにした第一ホーム(株)の「ユニエクセラ」シリーズを、北九州市の「松尾町」(3区画)、「朽網東」(5区画)、「中曽根東」(6区画)、「菅原」(9区画)、「長尾」(30区画)、福岡市の「九産大駅前」(9区画)、「美和台」(2区画)、「寺塚」(3区画)、福岡県古賀市の「古賀駅前」(4区画)、福岡県福津市の「宮司」(14区画)、「西福岡」(11区画)、「明日花」(5区画)、福岡県糟屋郡の「久山」(6区画)、「新宮」(6区画)を新規販売し、順調に推移した結果、売上高は2,549百万円(前年同四半期比24.8%増)となりました。

その他331百万円を加えた不動産分譲事業全体の売上高は、5,446百万円(前年同四半期比4.7%増)となり、セグメント利益は45百万円(同89.8%減)となりました。

不動産賃貸事業

不動産賃貸業界では、政権交代後の景気上昇局面において、都心部の人気エリアで動きが始め、地方でも明るい兆しがあるものの、業者間の競争は厳しい状態にあります。

当社グループでは、取引業者と連携した入居支援キャンペーンの展開と、福岡県行橋市内において、各戸ホームセキュリティ完備の新築賃貸マンション(3LDK24戸)を着工しました。また、北九州・宮崎地区では、飲食テナントビルの夜間オープンルームにより入居募集活動を展開しております。なお、前連結会計年度において商業施設の所有目的の変更による店舗の賃料収入の増加により、売上高は1,801百万円(前年同四半期比23.2%増)、セグメント利益は947百万円(同26.6%増)となり、管理物件は13都道府県で1,956戸となりました。

金融事業

当社グループにおける金融事業の融資残高は、堅調な不動産市場を背景に、良質資産の積極的な積上げを行う一方、不良資産の縮減に努めた結果、不動産担保ローンは12,758百万円(前連結会計年度比236百万円減)、無担保ビジネスローンも施策的な抑制により102百万円(同12百万円減)となった結果、総融資残高は12,861百万円(同249百万円減)となりました。また、不動産再生部門では、福岡市内のテナントビルのほか、宮城県黒川郡の山林の購入など積極的な営業活動とエリア拡大を図っております。

売上高につきましては、不動産再生部門における東京都中央区のテナントビル、熊本市のマンション用地などの譲渡の結果、4,135百万円(前年同四半期比57.9%増)となり、セグメント利益は651百万円(同85.4%増)となりました。

その他事業

その他事業においては、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等により、売上高は1,041百万円(前年同四半期比26.0%増)、セグメント利益は132百万円(同14.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ2,278百万円増加し、139,830百万円となりました。主な増加は、たな卸資産4,499百万円であり、主な減少は、現金及び預金1,994百万円であります。

負債は、前連結会計年度に比べ961百万円増加し、111,743百万円となりました。主な増加は、有利子負債4,609百万円、主な減少は、支払手形及び営業未払金3,044百万円であります。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度に比べ1,316百万円増加し、28,086百万円となりました。主な増加は、四半期純利益1,257百万円であり、主な減少は、剰余金の配当195百万円であります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は7,706百万円となり、前連結会計年度に比べ1,976百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3,732百万円(前年同四半期は1,615百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,385百万円、たな卸資産の増加による減少4,587百万円、仕入債務の減少2,485百万円、タクシー車両の減価償却を中心とする償却費用1,626百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,400百万円(前年同四半期は1,988百万円の使用)となりました。これは主に、営業車輛の購入を中心とする有形・無形固定資産の取得による支出2,035百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は4,135百万円(前年同四半期は1,664百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増による収入717百万円と長期借入による収入11,107百万円及び長期借入金の約定弁済並びに繰上償還による支出7,245百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、今後もより一層の営業体制の強化、経費節減に努めてまいります。従いまして、現段階において平成25年5月9日に公表いたしました平成26年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,942	8,948
受取手形及び営業未収入金	2,318	2,261
営業貸付金	12,781	12,531
たな卸資産	24,195	28,694
その他	3,521	3,152
貸倒引当金	741	711
流動資産合計	53,018	54,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,896	21,612
土地	46,320	46,508
その他(純額)	4,674	4,818
有形固定資産合計	72,891	72,940
無形固定資産		
のれん	983	978
その他	333	302
無形固定資産合計	1,316	1,281
投資その他の資産	10,324	10,732
固定資産合計	84,533	84,954
資産合計	137,551	139,830
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	7,827	4,783
短期借入金	24,212	26,814
未払法人税等	1,251	874
賞与引当金	463	471
その他	6,050	5,816
流動負債合計	39,805	38,760
固定負債		
長期借入金	59,142	61,150
退職給付引当金	1,606	1,662
役員退職慰労引当金	1,878	1,936
利息返還損失引当金	34	15
その他	8,314	8,218
固定負債合計	70,976	72,983
負債合計	110,781	111,743

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,027	2,027
資本剰余金	2,214	2,214
利益剰余金	26,786	27,846
自己株式	67	67
株主資本合計	30,961	32,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	295
土地再評価差額金	5,753	5,740
その他の包括利益累計額合計	5,588	5,444
少数株主持分	1,396	1,510
純資産合計	26,769	28,086
負債純資産合計	137,551	139,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	38,725	41,929
売上原価	31,851	34,929
売上総利益	6,874	6,999
販売費及び一般管理費	4,444	4,500
営業利益	2,429	2,499
営業外収益	506	574
営業外費用		
支払利息	623	582
その他	67	54
営業外費用合計	690	637
経常利益	2,245	2,437
特別利益		
固定資産売却益	30	46
特別利益合計	30	46
特別損失		
固定資産除売却損	99	83
投資有価証券評価損	46	14
退職給付制度終了損	61	-
特別損失合計	206	98
税金等調整前四半期純利益	2,068	2,385
法人税、住民税及び事業税	761	946
法人税等調整額	312	65
法人税等合計	1,073	1,012
少数株主損益調整前四半期純利益	995	1,372
少数株主利益	55	115
四半期純利益	940	1,257

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	995	1,372
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	70	129
その他の包括利益合計	70	129
四半期包括利益	924	1,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	872	1,388
少数株主に係る四半期包括利益	52	114

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,068	2,385
減価償却費	1,343	1,420
のれん償却額	363	206
たな卸資産評価損	24	76
貸倒引当金の増減額(は減少)	222	11
退職給付引当金の増減額(は減少)	29	55
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	53	58
利息返還損失引当金の増減額(は減少)	21	18
受取利息及び受取配当金	44	51
支払利息	623	582
固定資産除売却損益(は益)	69	37
営業債権の増減額(は増加)	237	319
たな卸資産の増減額(は増加)	395	4,587
仕入債務の増減額(は減少)	720	2,485
その他の資産・負債の増減額	503	22
その他	122	4
小計	3,414	1,964
利息及び配当金の受取額	44	52
利息の支払額	596	576
法人税等の支払額	1,247	1,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,615	3,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	297	586
定期預金の払戻による収入	315	604
投資有価証券の取得による支出	97	102
投資有価証券の売却及び償還による収入	70	204
有形及び無形固定資産の取得による支出	1,413	2,035
有形及び無形固定資産の売却による収入	215	236
短期貸付金の増減額(は増加)	49	38
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	150	33
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	1
営業譲受による支出	258	130
長期貸付けによる支出	215	478
長期貸付金の回収による収入	61	102
その他の支出	269	283
その他の収入	101	61
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,988	2,400

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	2,944	717
長期借入れによる収入	4,438	11,107
長期借入金の返済による支出	8,640	7,245
リース債務の返済による支出	199	238
配当金の支払額	195	195
少数株主への配当金の支払額	12	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,664	4,135
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,037	1,998
現金及び現金同等物の期首残高	12,124	9,682
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	0	22
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,086	7,706

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	タクシー	バス	不動産 分譲	不動産 賃貸	金融	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	25,354	3,260	5,202	1,462	2,618	37,898	826	38,725	-	38,725
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	-	-	-	-	-	-	1,943	1,943	1,943	-
計	25,354	3,260	5,202	1,462	2,618	37,898	2,770	40,669	1,943	38,725
セグメント 利益	733	12	440	748	351	2,285	154	2,440	10	2,429

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社業務管理、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 10百万円には、セグメント間取引消去60百万円、営業外収益計上バス運行補助金収入 70百万円が含まれております。

なお、バス事業に係るバス運行補助金収入については、報告セグメントの利益を算定するにあたり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、費用から控除しております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	タクシー	バス	不動産 分譲	不動産 賃貸	金融	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	26,026	3,476	5,446	1,801	4,135	40,887	1,041	41,929	-	41,929
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	-	-	-	-	-	-	2,113	2,113	2,113	-
計	26,026	3,476	5,446	1,801	4,135	40,887	3,155	44,043	2,113	41,929
セグメント 利益又は損 失()	743	8	45	947	651	2,379	132	2,511	11	2,499

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社業務管理、自動車の点検・整備、LPGの販売、パーキング事業及び車両運行管理請負業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 11百万円には、セグメント間取引消去59百万円、営業外収益計上バス運行補助金収入 70百万円が含まれております。

なお、バス事業に係るバス運行補助金収入については、報告セグメントの利益を算定するにあたり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、費用から控除しております。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度末において、所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしました。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比較して、「不動産賃貸」について、売上高が312百万円及びセグメント利益が185百万円多く計上されております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

営業の状況

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
タクシー事業	26,026	+2.7
バス事業	3,476	+6.6
不動産分譲事業	5,446	+4.7
不動産賃貸事業	1,801	+23.2
金融事業	4,135	+57.9
報告セグメント計	40,887	+7.9
その他事業	1,041	+26.0
合計	41,929	+8.3

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) タクシー事業

営業実績

項 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
第2四半期末在籍車両数	7,153 台	7,464 台
稼働率	89.9 %	87.8 %
走行キロ	184,658 千km	186,549 千km
運送収入	25,354 百万円	26,026 百万円
走行1km当たり運送収入	137 円 30 銭	139 円 52 銭

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) バス事業

営業実績

項 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
第2四半期末在籍車両数	699 台	704 台
稼働率	63.6 %	66.4 %
走行キロ	14,546 千km	15,881 千km
運送収入	3,260 百万円	3,476 百万円
走行1km当たり運送収入	224 円 14 銭	218 円 91 銭

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 不動産分譲事業
販売実績

項目	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	数量 (戸)	金額 (百万円)	数量 (戸)	金額 (百万円)
マンション	227	2,681	136	2,566
戸建住宅	82	2,042	101	2,549
その他	-	478	-	331
合計	309	5,202	237	5,446

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 共同事業における金額は、全体の売上金額を当社持分比率で按分した金額を計上しております。
 3. 不動産分譲事業では、顧客のニーズに合わせて第4四半期連結会計期間に竣工する物件の割合が高いため、業績に季節的変動があります。

分譲住宅の契約実績

項目	期首契約残高		四半期中契約高		四半期末契約残高	
	数量 (戸)	金額 (百万円)	数量 (戸)	金額 (百万円)	数量 (戸)	金額 (百万円)
(前第2四半期連結累計期間)						
マンション	506	6,961	295	5,780	574	10,060
戸建住宅	27	581	102	2,661	47	1,199
(当第2四半期連結累計期間)						
マンション	186	4,443	303	7,134	353	9,012
戸建住宅	42	1,039	112	2,881	53	1,371

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. 共同事業における金額は、全体の契約金額を当社持分比率で按分した金額を計上しております。

(5) 不動産賃貸事業
営業実績

項目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	金額(百万円)	金額(百万円)
店舗	1,022	1,354
住居	206	216
オフィス	176	173
その他	57	57
合計	1,462	1,801

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(6) 金融事業
売上高の内訳

項 目	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	金額 (百万円)	(参考)融資残高 (百万円)	金額 (百万円)	(参考)融資残高 (百万円)
不動産担保ローン	570	13,173	581	12,758
ビジネスローン	3	136	2	102
不動産再生	1,767	-	3,271	-
その他	277	-	281	-
合 計	2,618	13,310	4,135	12,861

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。